

出雲市中小・小規模企業振興モデル事業（令和 3 年度新規分）について

1. 募集期間

令和 3 年 4 月 2 6 日 ～ 6 月 2 1 日

2. 応募状況

事業計画提出件数：2 件（出雲商工会議所管内：1 件 出雲商工会管内：1 件）

3. 提案された事業の審査

令和 3 年 7 月 1 6 日に開催した「出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議」において、事業計画書及び当日の各ワーキンググループ (WG) からのプレゼンテーションを踏まえ、以下の視点に基づき審査を行った。

項目	承認にあたり考慮する点
事業目的	WG で取り組むテーマに対する目的が明確かつ妥当か
事業内容	これまでに市や商工団体等が取り組んでいない内容もしくは、既存施策の効果を高めることが期待できる内容か
波及効果	市内企業が自ら課題に取り組むための仕組みづくりにつながる内容か
WG の自主性	WG が自ら企画を練り上げ、実施できる内容か

4. 審査結果

2 件とも承認

5. 承認した事業の概要

①	WG 名	多伎元気プロジェクト
	構成員	㈱多伎振興 常務取締役 杉谷 伸二 他 4 名
	事業名	多伎元気プロジェクト
	事業概要	山陰道「出雲～多伎」間の開通により、通過点となる多伎地域の活力が低下することへの懸念から、交流のあるフィンランドの妖精『トントゥ』を新たなコンテンツとして活用し、「地域の連携・名所名産の再発掘」「効果的な PR 方法の検討」「地域内資金循環のための商品づくり」に取り組み、多伎地域のコミュニティや経済の活性化につなげていく。
②	WG 名	飲食 DX プロジェクト
	構成員	㈱エクスペイン 代表取締役 松尾 貴久 他 1 名
	事業名	飲食店×DX
	事業概要	IT を活用し、コロナ禍により大きなダメージを被った飲食店を利用してもらう仕組みづくりやコロナ禍で加速したフードロス削減し飲食店の損失を軽減するための取組を行う。 (1) 飲食店の混雑状況・空室状況をライブ配信し、利用者が状況を確認して予約できるシステムの構築 (2) 市内ホテルの宿泊客が、QR コードから周辺飲食店のテイクアウト・デリバリー料理の注文ができるシステムの構築 (3) 廃棄処分する商材や規格外商品等を活用した急速冷凍加工品を開発し、市民に販売するシステムの構築